

令和5年度 小金井市立緑小学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を行うために、「学習の個別最適化」と「協働的な学習」について改善を図る。

2 児童の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査

国語	○読解力はある、話すこと・聞くことはよくできている。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力を育むために、日常の学習の中で、文の中で適切に漢字を使っていけるように指導していく。
算数	○数と計算の領域の正答率が高い。2つの量の関係や図形の底辺と面積の関係など知りたい数量の大きさの求め方を言葉や数、式などの記述で表す力を育むために、話し合い活動の中で意見を交流させ、自分の考えを深めさせるようにする。

(2) 教職員アンケートより

○コロナの影響により、直接話し合ったりかかわり合ったりする経験が不足している。そのため、児童同士による「対話」に課題を感じている。対話が発表にとどまりがちなので、話し合い活動を深める工夫や、対話的に話し合う中で学び合えるようにしていきたい。

3 ICT端末の活用について

○ICTありきで授業を行うのではなく、ツールの一つとして児童の実態に応じて効果的に活用する。効果的だった活用の仕方を学校全体で共有し広めていく。

4 各教科等における授業改善の視点

国語	低学年	○話型や文型を提示し、自分の考えを書いたり発表したりできるようにする。 ○うなずいたり、ハンドサインを示したりするなどして、話を最後まで聞くことを意識させる。
	中学年	○事前に自分の考えを書いてから話し合いをすることで、自信をもって自分の意見を発表できるようにする。 ○掲示物を活用して聞く視点を明確にし、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさずに集中して聞き、質問や感想を言う活動を取り入れる。
	高学年	○話し合いの際には司会などの役割を決めたり、話し合う視点を明確にしたりして自分の考えを広げさせる。 ○スピーチや授業中の友達の発言などの際に、話の目的や伝えたいことを考えながら聞くことができるようにする。また、自分の考えと比較して共感したことなどを発表し、聞く力を高めさせる。
社会	中学年	○単元の終わりには新聞やポスター、ICT 機器などにまとめる活動に取り組みさせる。また、資料の読み取り方を丁寧に指導し、読み取る練習を重ねていく。
	高学年	○資料から児童が見出した問題を基に、学習計画を構成できるようにする。また、学習内容を友達と共有できるようにし、多様な学習過程を踏み、児童がまとめ方を選択できるようにする。

算 数	低学年	○いろいろな考えを交流する活動を通して、様々な表現の仕方（絵や図、式、ブロック、数の分解等）があることを知り、それぞれの方法の良さに気付かせる。
	中学年	○絵や図、式、ブロック、数の分解などを用いて自分の考えを表現し、友達と考えを交流することで、より良い解決方法があることに気付かせる。
	高学年	○既習事項を活用して自分に合った方法（図、式、数直線等）で問題解決を図り、学び合いを通して、自他の考えの相違点に気付かせたり、新たな視点をもたせたりする。その気付きを、以降の学習で想起し活用できるようにしていく。
理 科	中学年	○事象から生活体験や既習内容をもとに自由な予想・仮説を考え友達と交流させることで、新たな発想で事象を考えられるようにする。 ○結論を導き出せるように予想と結果から必要な情報の使い方を丁寧に指導し、自分の考えをまとめる練習を重ねていく。
	高学年	○事象に対する予想をもとに、予想通りだとどのような結果になるかを推測させながら実験方法を考えることができるようにする。 ○事象に対する疑問・問題に対する結論を、予想と実験結果から導き出せるように指導していく。
生 活	低学年	○興味に応じた活動を選択させたり、気付いたことを多くの人と交流できるような場を設定したりして、新たな気付きや工夫などを生み出せるようにする。
音 楽	低学年	○できるだけ多くの曲の歌唱や演奏を通して、音楽の良さや面白さ、美しさを感じ取らせる。
	中学年	○音楽によって喚起されたイメージや感情、思いや感じたことなどを伝え合うための語彙を増やす経験をさせる。
	高学年	○自分の表したい音楽表現をするために、音楽を形づくっている要素を基に話し合ったり、表現したりできる場を設定する。
図画工作	低学年	○互いの作品を鑑賞する時間を取り、工夫した点などを話し合っって自分の作品に取り入れることができるようにする。
	中学年	○作品を鑑賞しながら話をするを通して様々な表現に触れたり、素材に触れる中でやりたいことを見つける題材設定にしたりするなど、様々な表現を試す環境を整える。
	高学年	○表現する前にアイデアスケッチや参考資料を見せたり、じっくりと自分の表現を見る時間を取ったりして、思いを広げる環境を整える。
家 庭	高学年	○裁縫や調理の学習では、動画資料の活用や保護者の協力も得ることで、安全で正確な物の取り扱いができるようにする。
体 育	低学年	○運動遊びに進んで取り組み、だれとでも仲良く運動をすることができるようにする。勝敗を受け入れることが大切であることを話し、安全に配慮した場の設定を工夫する。
	中学年	○自分の能力に適した課題をもって運動に取り組めるように、学習カードや場の設定の工夫をする。また児童に友達の動きを見るとき視点について指導することで、主体的に学び合いができるようにする。
	高学年	○各種の運動の特性に応じた技能を身に付けたり、体力を高めたりできるよう、スモールステップの学習過程を取り入れ、学習の高まりを感じさせる。

外国語	中学年	○チャッツやデジタル教材等を活用しインプットを多くすることで、基本的な語句や表現を用いて話すことができるようにする。
	高学年	○既習した表現や語句を用いて、自分の考えや思いを伝え合えるよう、コミュニケーションを行う必然的な場面や状況を授業に取り入れる。
道徳	低学年	○友達の意見を聞いて、話し合わせる中で、いろいろな考えがあること気付かせることで他者理解につなげる。
	中学年	○導入の場面で、事前アンケートの結果等を共有することで内容項目に対して一人一人が自分なりの課題をもち、主体的に考えられるように工夫をする。
	高学年	○一人一人が考えをもって主体的に話し合いができるように、児童が「考えたい」「話し合いたい」と思えるような発問を工夫する。
総合	中学年	○探求のプロセス（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）を単元や授業の中で繰り返し設定していく。特に資料の収集や体験を重視する。
	高学年	○課題に対して ICT などでの的確に情報を収集させ、得た情報を分析しながら解決できるように段階を提示して、一人一人が課題を解決できるようにする ○異なる多様な考えを協働的に学べるように学習形態を工夫する。